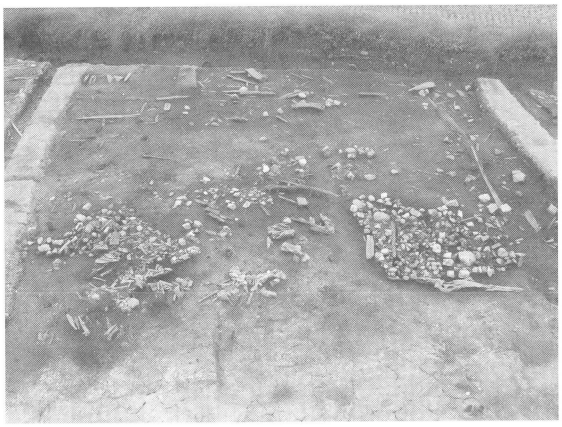
畦畔北側土層（南より）

畦畔中央土層（南より）

畦畔南側土層（南より）



集石遺構１・２（西より）

集石遺構１（東より）

集石遺構１（西より）

集石遺構２（東より）

集石遺構２（西より）

図　版　28

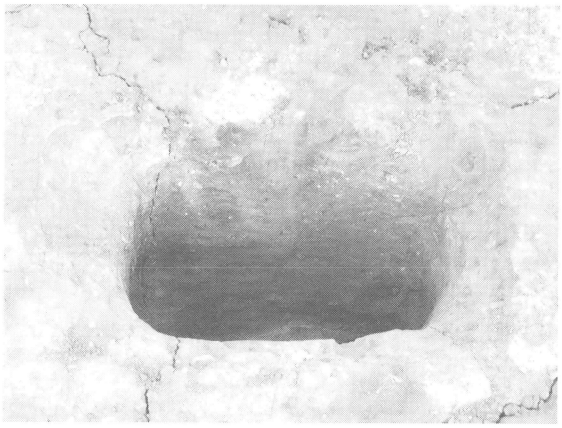
ＳＸ１遺物出土状況（南東より）

ＳＸ２遺物出土状況（東より）

ＳＸ３遺物出土状況（東より）

噴砂１断面（西より）

噴砂２断面（南より）



噴砂３断面（南より）

銅鈴No. 97 出土状況（東より）

羽口No. 113 出土状況（東より）

下駄No. 119 出土状況（東より）

下駄No. 120 出土状況（西より）

下駄No. 122 出土状況（西より）

下駄No. 125 出土状況（南より）

下駄No. 126 出土状況（東より）

木製品No. 131 出土状況（東より）

Ｅ７グリッド板列出土状況（北より）

Ｄ５・６グリッド板列出土状況（西より）

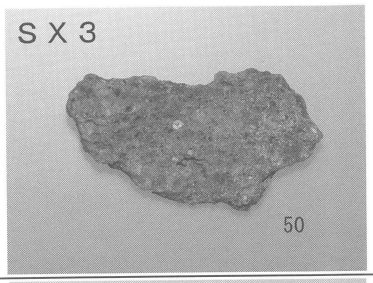
図　版　30

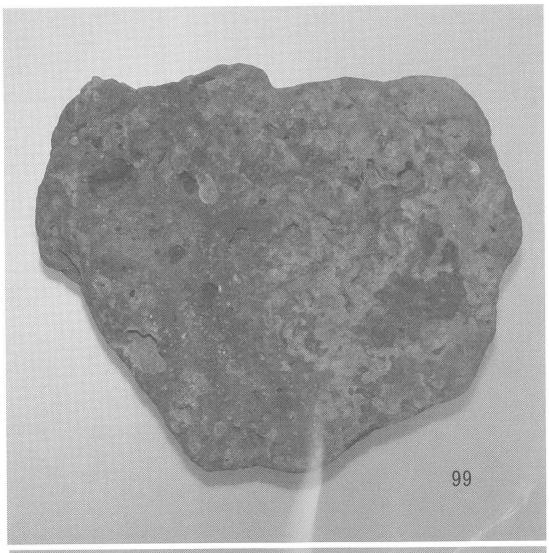
Ｄ５・Ｅ５グリッド全景（東より）

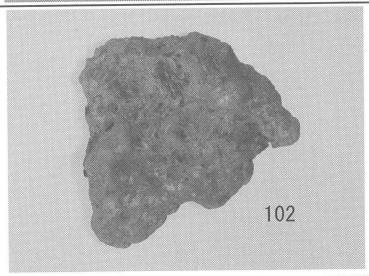
Ｄ６・Ｅ６グリッド全景（東より）

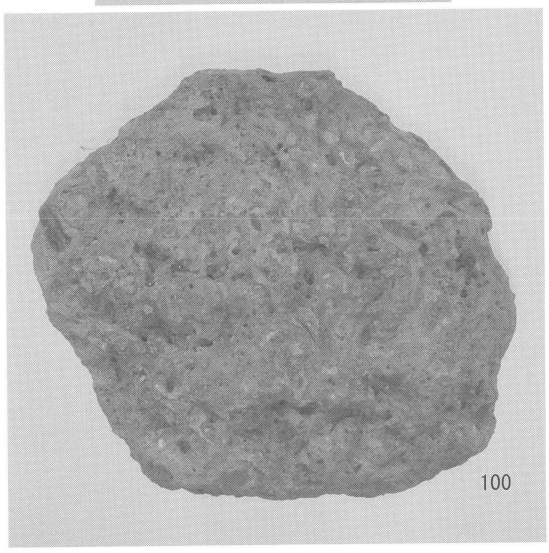
図　版　31

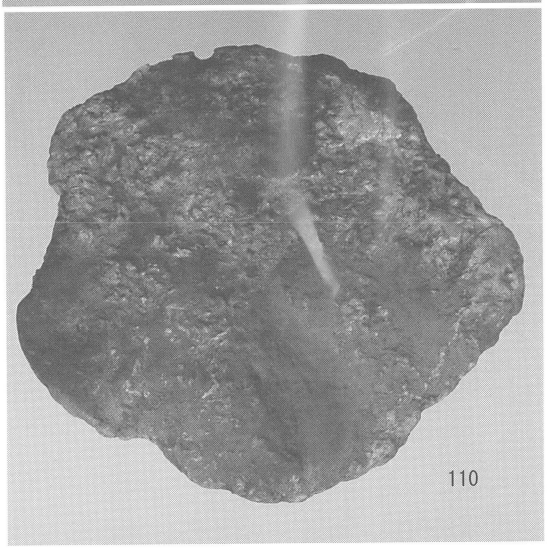
（大婦け遺跡）

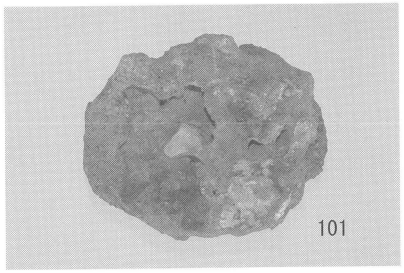


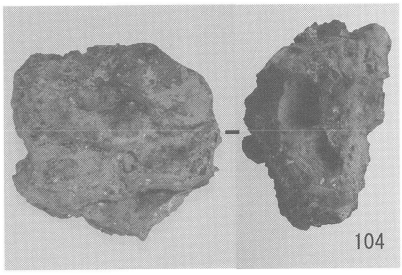


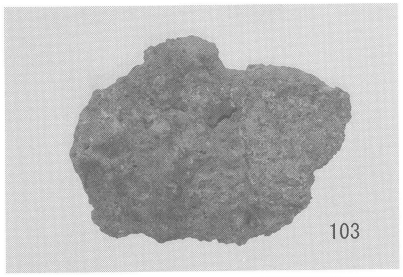


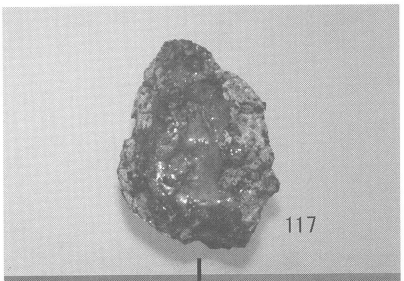


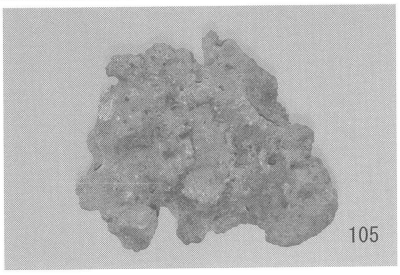


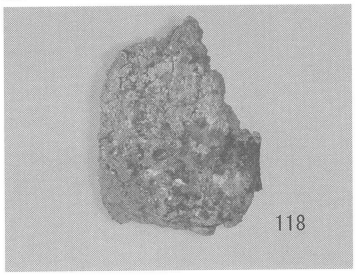












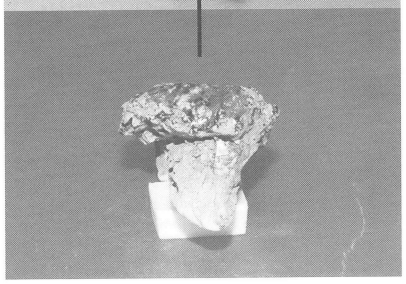
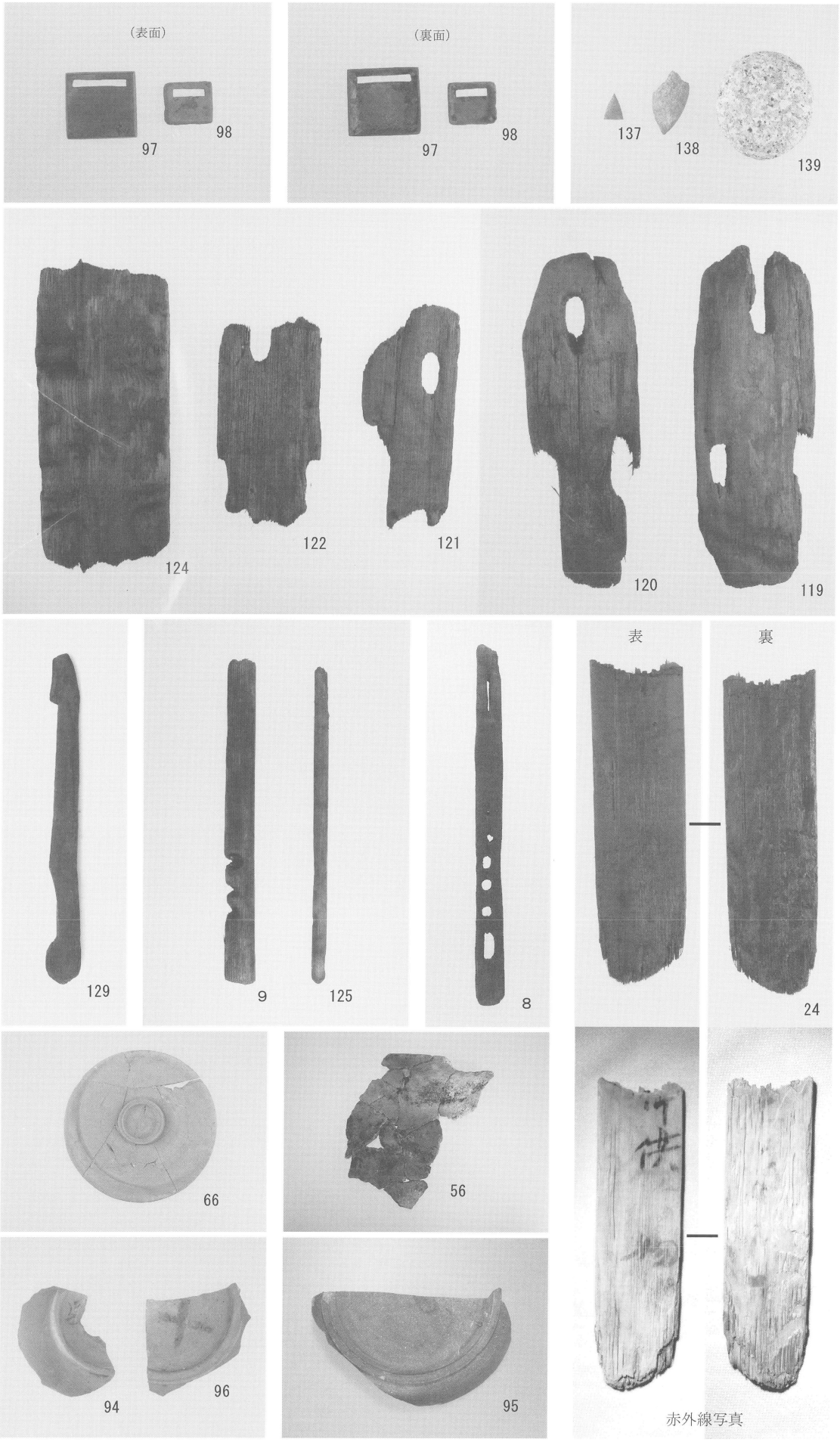


図　版　32


（表面）
97
98
（裏面）
97
98
137
138
139
124
122
121
120
119
129
9
125
8
表
裏
24
66
56
94
96
95
赤外線写真

報 告 書 抄 録

ふりがな	きべちくはっくつちょうさほうこくしょ
書名	木部地区発掘調査報告書
副書名	土居丸館跡・本郷遺跡・大婦け遺跡
巻次	
シリーズ名	津和野町埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	第６集
編著者名	宮田健一、有馬啓介、永田茂美、大澤正己、鈴木瑞穂、渡辺正巳、吉田生物研究所
編集機関	津和野町教育委員会
所在地	〒699-5605　島根県鹿足郡津和野町後田ロ 64-6　℡ 0856-72-1854
発行年月日	西暦 2008 年 3 月 24 日

所収遺跡（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
土居丸館跡（どいまるやかたあと）	島根県鹿足郡津和野町長福（しまねけん かのあしぐん つわのちょう ながふく）	W	1	34 度 32 分 45 秒	131 度 43 分 04 秒	20040928 ～ 20050228	480	県道改良工事
本郷遺跡（もとごういせき）	同上	W	111	34 度 32 分 27 秒	131 度 43 分 09 秒	同上	620	同上
大婦け遺跡（おおぶいせき）	島根県鹿足郡津和野町中川（しまねけん かのあしぐん つわのちょう なかがわ）	W	128	34 度 32 分 05 秒	131 度 43 分 10 秒	20050531 ～ 20051228	4,900	同上

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
土居丸館跡（どいまるやかたあと）	館跡	中世	溝、土坑、柱穴、焼土遺構	陶磁器類、土師器類、瓦質土器類、金属製品類、木製品類、土製品類、石製品	
本郷遺跡（もとごういせき）	集落跡	古代	土坑、柱穴、杭列	須恵器類、土師器類、陶磁器類、木製品類、金属製品類	
大婦け遺跡（おおぶいせき）	水田跡	古代	畦畔、溝、杭列、噴砂	陶磁器類、須恵器類、土師器類、土製品類、金属製品類、木製品類、石製品	

要約

土居丸館跡は中世津和野城主吉見氏の一族である長野氏の方形居館跡である。館跡北西隅からは、館の北辺を区画する可能性のある溝が発見された。15 世紀代を中心に 4 時期の遺構面が重複していると考えられ、第 4 遺構面から第 3 遺構面への変遷では遺構主軸が大きく異なっている。館内からは鍛冶関連遺構・遺物が検出された。

本郷遺跡は古代の集落跡である。集落の縁辺部と推定される斜面からは杭列遺構が発見され、鍛冶関連遺物も出土した。

大婦け遺跡は古代の水田跡である。廃棄された木製品などを転用して埋め込んだ畦畔や溝が検出された。須恵器・土師器などのほかに大量の金属生産関連遺物が出土した。分析の結果は、鉄が主成分の鍛冶滓が大半であったが、一部に銅精錬に用いられた羽口と銅滓の存在も確認された。鍛冶滓との関係は不明であるものの鉄鉱石も出土している。また、特記遺物として、未製品を含む古代の下駄、腰帯金具の銅銙、木簡、墨書土器が出土している。なお、古代の地震にともなうと推定される噴砂の痕跡も確認された。

津和野町埋蔵文化財報告書第６集

木部地区発掘調査報告書

土居丸館跡・本郷遺跡・大婦け遺跡

2008（平成20）年３月24日

編集　津和野町教育委員会
　　島根県鹿足郡津和野町後田ロ 64-6
印刷　（有）坂田印刷所
　　島根県鹿足郡津和野町後田ロ 704 ロ 705 番合併地